



Title	二〇〇六年度行事報告
Citation	基督教学, 42, 42-44
Issue Date	2007-06-28
Doc URL	<a href="http://hdl.handle.net/2115/46711">http://hdl.handle.net/2115/46711</a>
Type	other
File Information	42_42-44.pdf



[Instructions for use](#)

# 二〇〇六年度行事報告

総 会

〔報告〕

二〇〇五年度行事・会計・会計監査報告を承認した。

第四五回大会 七月一七日(月) 於・旭川パレスホテル

理事会

研究発表会

一 「陰謀論」とファンダメンタリズムの親和性

北大大学院博士後期課程 辻 隆太郎

二 生命倫理において「神を演じる」ということ

北大大学院博士後期課程 鶴島 暁

三 日本ナザレン教団旭川教会でのグループホーム施設について

浅井学園大学 千里 政文

四 〈宗教〉に対するエリアーデの「不安」

北大大学院修士課程 奥山 史亮

五 インマヌエル団体・聖公会グループ北海道移住の

経緯 ―天沼家所蔵文書から読み取る―

名寄市立大学 白井 暢明

〔協議〕

〔1〕学会の今後のあり方について

土屋会長より、日本基督教学会北海道支部と北海道基督教学会との関係をどうするべきかという問題に関して、これまでの経緯の報告・説明があり、その後、以下の諸点が協議され、決定された。

(1) 東北支部と北海道支部との統合には賛否両論があり、当初の統合案をこのまま押し進めることはしない。

(2) 日本基督教学会北海道支部と北海道基督教学会を組織として分離するにあたり、会計の分離と活動の分離の二点が協議された。

(3) 会計運営を分離するという前回大会における決定については、次のような形で実施する。

(3-1) 北海道基督教学会会計に置かれている繰り越し残金については、北海道基督教学会の通常

会計からはずし、「資金管理会計」（仮称）に入る。

- (3・2) 北海道基督教学会の会計年度は四月から三月までとなっているため、現時点では二〇〇六年度会計がすでに始まっており、支部助成金も振り込まれている。したがって、この助成金は北海道基督教学会の会計に繰り込み、来年度残金とともに通常会計からはずす。二〇〇七年度以降は、今回の決定に従い、助成金の扱いを日本基督教学会北海道支部事務局へ移管する。

- (3・3) 北海道基督教学会の運営に「資金管理会計」からの支出が必要になった場合には、北海道基督教学会理事会がこれを審議し、承認した上で支出するものとする。

- (3・4) 「資金管理会計」に置かれた残金について、日本基督教学会北海道支部は今後、請求権を主張しない。

- (3・5) 北海道基督教学会は、日本基督教学会北海道支部と会計を分離することによって、会計運

営に困難が生じる可能性がある。この問題については、今後の継続協議の対象とする。

- (4) 日本基督教学会北海道支部と北海道基督教学会の今後の活動のありかたについては、両団体がそれぞれに新しい形を探ることとする。なお、前者の事務局はさしあたり北海学園大学におく。

## (2) 役員改選

〔会 長〕 井上昌保

〔会計監査〕 菅沼英二

〔理事〕 阿部包、宇都宮輝夫、川島洋一、小林敬、

白井暢明、土屋博、柗暁生、牧野玲子、

山我哲雄

〔幹 事〕 石川明人、佐々木啓、千里政文

- (3) 次期第四六回大会は、二〇〇七年七月一六日（月の日）に酪農学園大学において開催する。

- (4) 『基督教学』第四二号を発行する。編集委員として次の各氏を選出した。

阿部包、石川明人、宇都宮輝夫、小林敬、白井暢明、山我哲雄

[5] 二〇〇六年度予算案を決定した。

〔新入会・退会〕

安酸敏眞、辻隆太朗、奥山史亮の三氏の入会を承認した。

和田博文氏の逝去が報告された。

懇親会

## 執筆者紹介

佐々木啓 北海道大学大学院文学研究科 准教授

奥山史亮 北海道大学大学院文学研究科 博士後期課程

平井上総 北海道大学大学院文学研究科 博士後期課程